

4. Satz

„Urlicht“
(aus »Des Knaben Wunderhorn«)

O Röschen roth!
Der Mensch liegt in größter Not!
Der Mensch liegt in größter Pein!
Je lieber möcht' ich im Himmel sein!

Da kam ich auf einen breiten Weg,
da kam ein Engelein und wollt' mich abweisen.
Ach nein! Ich ließ mich nicht abweisen!
Ich bin von Gott und will wieder zu Gott!
Der liebe Gott wird mir ein Lichtchen geben,
wird leuchten mir bis in das ewig selig Leben!

5. Satz

(Friedrich Gottlieb Klopstock)

Aufersteh'n, ja aufersteh'n wirst du,
mein Staub, nach kurzer Ruh!
Unsterblich Leben
wird der dich rief dir geben.

Wieder aufzublüh'n wirst du gesät!
Der Herr der Ernte geht
und sammelt Garben
uns ein, die starben!

(Gustav Mahler)

O glaube, mein Herz, o glaube:
Es geht dir nichts verloren!
Dein ist, ja Dein, was du gesehnt!
Dein, was du geliebt, Was du gestritten!

O glaube:
Du wardst nicht umsonst geboren!
Hast nicht umsonst gelebt, gelitten!

Was entstanden ist, das muß vergehen!
Was vergangen, auferstehen!
Hör' auf zu beben!
Bereite dich zu leben!

O Schmerz! Du Alldurchdringer!
Dir bin ich entrungen!
O Tod! Du Allbezwinger!
Nun bist du bezwungen!

Mit Flügeln, die ich mir errungen,
in heißem Liebesstreben,
werd' ich entschweben
zum Licht, zu dem kein Aug' gedrungen!
Sterben werd' ich, um zu leben!

Aufersteh'n, ja aufersteh'n wirst du,
mein Herz, in einem Nu!
Was du geschlagen,
zu Gott wird es dich tragen!

第4楽章

「原光」
(『少年の魔法の角笛』より)

ああ、小さな赤いバラ
人間は大きな苦境のうちにある
人間は大きな苦痛のうちにある
それだけにいっそう私は天にいたいのです

私が広い道を歩いていたら
小さな天使がやってきて、私を追い返そうとしました
ああ、そんな！ 私は追い返されるままにはなりませんでしたが
私は神さまからやってきて、また神さまのところに行くのです
神さまは私に小さな光を与えてくださり
永遠の至福のいのちに入るまで私を照らしてくださいませ

第5楽章

(フリードリヒ・ゴットリーブ・クロップシュトック)

復活する、そう、おまえは復活するのだ
塵となったおまえは、しばしの憩いのあとで。
滅びることのないいのちを
おまえを呼び覚ました方が与えてくださるだろう。

ふたたび花開くために、おまえという種は蒔かれる。
刈り入れの主はゆき
穀物の束を集められる
私たち死せるものという穀物を。

(グスタフ・マーラー)

ああ信じるのだ、わが心よ、信じるのだ、
おまえから失われるものはなにもない。
おまえのもの、そうおまえのもの、思いこがれたもの、
おまえが愛したもの、おまえが戦ったものは。

ああ信じるのだ、
おまえが生まれたのはむだではなかった
おまえが生きてきたのは、苦しんできたのはむだではなかったと。

生じたものは、必ず滅び去る
滅び去ったものは、必ず復活する。
震えおののくのをやめよ
生きるそなえをするのだ。

ああ苦しみよ、あらゆるものを貫く苦しみよ
私はおまえの手から引き離されている。
ああ死よ、あらゆるものを征服する死よ
いまやおまえが征服されるのだ。

私が勝ち取った翼によって
熱く愛を追い求めながら
私は漂い去って行く
どのような目も達したことのない光へと。
私は死んでゆくのだ、生きるために！

復活する、そう、おまえは復活するのだ
わが心よ、一瞬のうちに。
おまえが打ち負かしたものが
神のもとへとおまえを運んでゆく。